

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005 年 12 月 22 日 (22.12.2005)

PCT

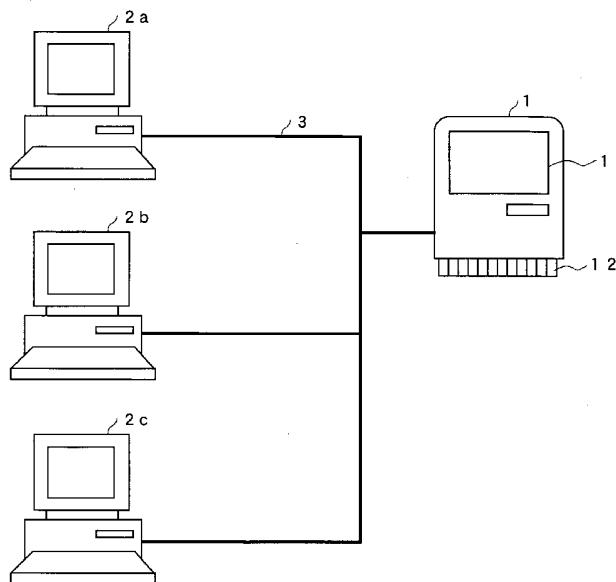
(10) 国際公開番号
WO 2005/121985 A1

- (51) 国際特許分類⁷: **G06F 15/00**, H04N 5/765, H04Q 9/00
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2005/010306
- (22) 国際出願日: 2005 年 5 月 31 日 (31.05.2005)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2004-169615 2004 年 6 月 8 日 (08.06.2004) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 三洋電機株式会社 (SANYO ELECTRIC CO., LTD.) [JP/JP];
〒5708677 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてののみ): 藤山 仁宏 (FUJIIYAMA, Michihiro) [JP/JP]; 〒6100357 京都府京田辺市山手東1-40-7 Kyoto (JP). 本田 博幸 (HONDA, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒5780931 大阪府東大阪市花園東町1-15-14 Osaka (JP). 木村 修治 (KIMURA, Shuji) [JP/JP]; 〒5770023 大阪府東大阪市荒本2049-4 Osaka (JP).
- (74) 代理人: 香山 秀幸 (KAYAMA, Hideyuki); 〒5330033 大阪府大阪市東淀川区東中島一丁目18番27号 新大阪丸ビル新館7階 Osaka (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,

[続葉有]

(54) Title: ELECTRIC DEVICE

(54) 発明の名称: 電気機器



(57) Abstract: An electric device includes current user information setting means for defining current user information as user information on the user assumed to be currently performing operation by using a main body operation unit, prompting a user to input a user name and a password when the user performs operation on an electric device by using the main body operation unit, judging whether the inputted password is correct, and setting the current user information to the user information corresponding to the inputted user name only if the inputted password is correct.

(57) 要約: 現行ユーザ情報を本体操作部を用いて現在操作を行なっていると想定されるユーザのユーザ情報と定義し、各ユーザが電気機器に対して本体操作部を用いて操作を行う際には、そのユーザ名およびパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力され

[続葉有]

WO 2005/121985 A1



ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR),
OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML,
MR, NE, SN, TD, TG).

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU,

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

明 細 書

電気機器

5 <技術分野>

この発明は、インターネット等のネットワークを介しての遠隔操作と、本体操作部による操作とが可能な電気機器に関する。

<背景技術>

- 10 例えば、監視用の記録再生装置として、ネットワークを介してP Cからの遠隔操作が可能であるとともに、記録再生装置に設けられた本体操作部からの操作が可能であるものがある。

- P Cを用いて記録再生装置を遠隔操作するユーザには、ユーザ名、パスワードおよび権限レベルが予め与えられている。権限レベルとしては、たとえば、次の
- 15 ような4つのレベルが用意されている。各ユーザに与えられているユーザ名、パスワードおよび権限レベルからなる情報（ユーザ情報）は、記録再生装置に登録されている。

- レベル1（最上位）：記録操作、再生操作
- 20 レベル2 ：再生操作、モニタリング操作（入力画像を見るだけ）
- レベル3 ：モニタリング操作（入力画像を見るだけ）
- レベル4（最下位）：操作不可

- 各ユーザが、P Cを用いて記録再生装置を遠隔操作するにあたっては、記録再生装置はユーザ名とパスワードを確認した後に、権限レベル内での操作を許容していた。
- 25

 なお、従来においては、記録再生装置に設けられた本体操作部を操作するユー

ザに対しては、P Cを用いて記録再生装置を遠隔操作する場合とは別の単一のキーロック解除用のパスワードを用いて、キーロックを解除させるようにしていた。

- 上記従来のシステムにおいては、あるユーザが本体操作部を操作する場合とP Cを用いて遠隔操作を行う場合とでは、入力するパスワードが異なるため、不便であった。また、キーロックを1つのキーロック解除用パスワードを用いて解除しているため、本体操作部を操作するユーザが複数存在する場合には、キーロック解除用パスワードをその全員が覚えている必要があるとともに、特定の人がキーロック解除用パスワードを変更した場合、本体操作部を操作する他のユーザに対して変更後のキーロック解除用パスワードを通知する必要がある。

<発明の開示>

この発明は、あるユーザが本体操作部を操作する場合とP Cを用いて遠隔操作を行う場合とで、入力するパスワードが同じとなり、操作が簡単となる電気機器を提供することを目的とする。

- また、この発明は、あるユーザ情報が現行ユーザ情報（本体操作部を用いて現在操作を行なっていると想定されるユーザのユーザ情報）として設定されている状態において、現行ユーザ情報内の権限レベルより高い権限レベルが与えられているユーザが、本体操作部に対して現行ユーザ情報内の権限レベルより高い操作を行った際に、当該ユーザがそのユーザ情報を現行ユーザ情報として設定し易くなる電気機器を提供することを目的とする。

また、この発明は、本体操作部が一定時間以上操作されなかったときに、現行ユーザ情報を所定の権限レベルが与えられている仮想的なデフォルトユーザのユーザ情報に自動的に設定することができる電気機器を提供することを目的とする。

- また、この発明は、特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報を所定の権限レベルが与えられている仮想的なデフォルトユーザのユーザ情報に自動的に設定することができる電気機器を提供することを目的とする。

また、この発明は、本体操作部が一定時間以上操作されなかったときには、現行ユーザ情報を、時間帯に応じた権限レベルが与えられている仮想的なデフォルトユーザのユーザ情報に自動的に設定することができる電気機器を提供することを目的とする。

- 5 また、この発明は、特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報を、時間帯に応じた権限レベルが与えられている仮想的なデフォルトユーザのユーザ情報に自動的に設定することができる電気機器を提供することを目的とする。

- 10 この発明による電気機器は、ネットワークを介しての遠隔操作と、本体操作部による操作とが可能な電気機器において、遠隔操作を行いうるユーザ、本体操作部の操作を行いうるユーザならびに遠隔操作および本体操作部の操作の両方を行いうるユーザを含む各ユーザについてユーザ名、パスワードおよび権限レベルからなるユーザ情報が予め設定されており、その設定内容を保持している記憶手段、
- 15 各ユーザが電気機器に対してネットワークを介して遠隔操作を行う際には、そのユーザ名およびパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、入力されたユーザ名に対応するユーザ情報に含まれている権限レベル内での遠隔操作を可能とさせる手段、現行ユーザ情報を本体操作部を用いて現在操作を行なっていると想定される
- 20 ユーザのユーザ情報と定義し、各ユーザが電気機器に対して本体操作部を用いて操作を行う際には、そのユーザ名およびパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、現行ユーザ情報を入力されたユーザ名に対応するユーザ情報に設定するといった現行ユーザ情報設定処理を行う手段、ならびに現行ユーザ情報として設定された
- 25 ユーザ情報に含まれている権限レベル内での本体操作部の操作を可能にさせる手段を備えていることを特徴とする。

上記記憶手段に権限レベルが所定のレベルに設定されたデフォルトユーザ情報

が登録されている場合において、上記電気機器は、電気機器の本体操作部からのキー入力が無い状態が所定時間以上継続しているときには、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段、電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力でないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段を備えていることが好ましい。

- 5 上記電気機器は、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、および特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段を備えていることが好ましい。

- 上記記憶手段に権限レベルが所定のレベルに設定されたデフォルトユーザ情報が登録されている場合において、上記電気機器は、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段、電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力でないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段を備えていることが好ましい。

- 1 日の時間帯が複数の時間帯に分けられており、記憶手段には、各分割時間帯毎に、その分割時間帯に応じて決定された権限レベルが設定されているデフォルトユーザ情報が登録されている場合において、上記電気機器は、電気機器の本体操作部からのキー入力が無い状態が所定時間以上継続しているときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別

した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ情報を設定する手段、電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力でないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段を備えていることが好ましい。

上記電気機器は、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、および特定キー操作によるキー入力があったときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ情報を設定する手段を備えていることが好ましい。

1日の時間帯が複数の時間帯に分けられており、記憶手段には、各分割時間帯毎に、その分割時間帯に応じて決定された権限レベルが設定されているデフォルトユーザ情報が登録されている場合において、上記電気機器は、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、特定キー操作によるキー入力があったときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ情報を設定する手段、電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力でないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段を備えていることが好ましい。

<図面の簡単な説明>

図 1 は、監視用の記録再生装置を含むネットワークシステムの構成を示すブロック図である。

図 2 は、本体操作部 1 2 上のキーが操作された場合の処理手順を示すフローチャートである。

図 3 は、キー入力が一定期間なかった場合に、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定するための処理の手順を示すフローチャートである。

図 4 は、キー入力が一定期間なかった場合に、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定するための処理の他の例の手順を示すフローチャートである。

<発明を実施するための最良の形態>

以下、図面を参照して、この発明を監視用の記録再生装置に適用した場合の実施例について説明する。

〔1〕第 1 実施例の説明

図 1 は、監視用の記録再生装置を含むネットワークシステムの構成を示している。

このネットワークシステムは、記録再生装置 1 と、記録再生装置 1 にネットワーク 3 を介して接続された複数の PC 2 a、2 b、2 c（総称するときには PC 2 と表記することにする）とを備えている。

記録再生装置 1 は、図示しない記録再生部と、入力画像を表示したり、再生画像を表示するためのモニタ 1 1 と、本体操作部 1 2 とを備えている。

ユーザは、本体操作部 1 2 を用いて記録再生装置 1 を操作することも可能であるし、PC 2 a、2 b、2 c を用いて記録再生装置 1 を遠隔操作することも可能である。

遠隔操作を行いうるユーザ、本体操作部の操作を行いうるユーザならびに遠隔操作および本体操作部の操作の両方を行いうるユーザを含む各ユーザと、本体側

デフォルトユーザ（仮想的なユーザ）とのそれぞれユーザに対して、表 1 に示すように、ユーザ名、パスワードおよび権限レベルからなるユーザ情報が予め与えられている。各ユーザに対するユーザ情報は、記録再生装置 1 に登録されている。

5

表 1

ユーザ名	パスワード	権限
TARO	111	1
JIRO	222	2
SABURO	333	3
HANAKO	444	2
YOSHIKO	555	3
YOSHIRO	666	1
HONTAI	999	4

なお、権限レベルとしては、レベル 1 ～ 4 が用意されているものとする。レベル 1 ～ 4 の権限内容は、以下の通りである。

10

レベル 1（最上位）：記録操作，再生操作

レベル 2：再生操作，モニタリング操作（入力画像を見るだけ）

レベル 3：モニタリング操作（入力画像を見るだけ）

レベル 4（最下位）：操作不可

15

表 1 において、“TARO” から “YOSHIRO” までは、各ユーザに与えられたユーザ名を表しており、“HONTAI” は、本体側デフォルトユーザに与えられたユーザ名を表している。本体側デフォルトユーザは、本体操作部 12 の操作を行う仮想的なユーザであり、その権限レベルはレベル 4（最下位）に設定されている。

ユーザがPC 2 a ~ 2 c を用いて記録再生装置 1 を遠隔操作する際には、記録再生装置 1 はユーザにユーザ名とパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、当該PC 2 a ~ 2 c と記録再生装置 1 とを遠隔操作を行える接続状態とし、その接続状態において、そのユーザに対して権限レベル内の操作を許可する。

ユーザが本体操作部 1 2 を用いて記録再生装置 1 を操作する際には、記録再生装置 1 はユーザにユーザ名とパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、現行ユーザ情報を入力されたユーザ名に対応するユーザ情報に設定するといった現行ユーザ
10 情報設定処理を行う。

なお、現行ユーザ情報とは、本体操作部 1 2 を用いて現在操作を行なっていると想定されるユーザのユーザ情報をいうものとする。後述するように、本体操作部 1 2 からのキー入力が一定期間無かった場合には、現行ユーザ情報は本体側デフォルトユーザのユーザ情報（ユーザ名：“HONTAI”，パスワード：999，権
15 限：4）に設定される。以下、本体側デフォルトユーザのユーザ情報を、デフォルトユーザ情報ということにする。

図 2 は、本体操作部 1 2 上のキーが操作された場合の処理手順を示している。

本体操作部 1 2 上のキーが操作されると、現行ユーザ情報として現在設定されているユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー操作であるか否かが判別さ
20 れる（ステップ S 1）。

現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー操作である場合には、操作されたキーに対応する処理を実行する（ステップ S 2）。そして、今回の処理を終了する。

上記ステップ S 1 において、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー操作でないと判別した場合には、現行ユーザ情報の設定処理（変更処理）を行った後（ステップ S 3）、今回の処理を終了する。なお、ステップ S 1 において、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報（ユーザ名：“HONTAI”，パスワ
25

ード：999、権限：4）が設定されている場合には、必ずステップS1でNOとなるため、現行ユーザ情報の設定処理に移行する（ステップS3）。

現行ユーザ情報の設定処理では、例えば、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されるので、ユーザはユーザ名およびパスワードを入力する。記録再生
5 装置1は、入力されたパスワードが正しいか否か（入力されたユーザ名に対応するパスワードと一致するか否か）を判別し、入力されたパスワードが正しい場合には、現行ユーザ情報として、入力されたユーザ名に対応するユーザ情報を設定する。入力されたパスワードが正しくない場合には、その旨を表示して、パスワードの再入力を促す。

- 10 図3は、キー入力が一定期間なかった場合に、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定するための処理の手順を示している。

この処理は、1秒毎に開始される。まず、前回の1秒間にキー入力があったか否かを判別する（ステップS11）。前回の1秒間にキー入力があった場合には、タイマ t をリセット（ $t=0$ ）した後（ステップS12）、ステップS14に

- 15 移行する。

上記ステップS11において、前回の1秒間にキー入力がなかったと判別した場合には、タイマ t を1だけインクリメント（ $t=t+1$ ）した後（ステップS13）、ステップS14に移行する。

ステップS14では、タイマ値 t が既定時間 T 未満であるか否かを判別する。

- 20 タイマ値 t が既定時間 T 未満である場合には、今回の処理を終了する。タイマ値 t が既定時間 T 以上である場合には、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報（ユーザ名：“HONTAI”，パスワード：999、権限：4）に設定した後（ステップS15）、今回の処理を終了する。

- 25 なお、キー入力が一定期間なかった場合に現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定することに代えて、またはキー入力が一定期間なかった場合に現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定することに加えて、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定させるための特定キーを本体操作部12

に設けておき、特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定するようにしてもよい。

〔２〕第２実施例の説明

5 所定の時間帯においては、記録再生装置１側に、例えば、権限レベル２が与えられているオペレータが常駐するようになっている場合を想定する。このオペレータが常駐する時間帯において、本体操作部１２からのキー入力が一定期間無かった場合には、第１実施例では、現行ユーザ情報はデフォルトユーザ情報（ユーザ名：“HONTAI”，パスワード：９９９，権限：４）に設定される。

10 そうすると、このオペレータが操作を行おうとすると、その都度、現行ユーザ情報設定処理を行う必要があり、不便である。そこで、第２実施例では、オペレータが常駐する時間帯において、本体操作部１２からのキー入力が一定期間無かった場合には、現行ユーザ情報として、オペレータに与えられている権限レベル（この例では“２”）と同じ権限レベルが与えられている第１の本体側デフォルトユーザのユーザ情報を設定する。一方、オペレータが常駐する時間帯以外の時
15 間帯において、本体操作部１２からのキー入力が一定期間無かった場合には、現行ユーザ情報として、第１実施例のように権限レベル４が与えられている通常の本体側デフォルトユーザ（第２の本体側デフォルトユーザ）のユーザ情報を設定する。

20 具体的には、表２に示すように、デフォルトユーザ情報として、２種類のデフォルトユーザ情報が登録されている。一方のデフォルトユーザ情報（第１のデフォルトユーザ情報）は、ユーザ名“HONTAI1”、パスワード“９０１”および権限レベル“２”のデータから構成され、他方のデフォルトユーザ情報（第２のデフォルトユーザ情報）は、ユーザ名“HONTAI2”、パスワード“９０２”および権限レベル“４”のデータから構成されている。

表 2

ユーザ名	パスワード	権限
HONTAI1	901	2
HONTAI2	902	4

この例では、記録再生装置 1 側に、権限レベル 2 が与えられているオペレータ
 5 (例えば、表 1 の“HANAKO”) が、毎日、10:00 から 17:00 までの時間帯において常駐するものとする。そして、記録再生装置 1 側には、第 1 のデフォルトユーザ情報 (ユーザ名が“HONTAI1”のユーザ情報) の有効時間帯として、開始時刻 (10:00) と終了時刻 (17:00) が登録されている。

本体操作部 1 2 上のキーが操作された場合の処理手順は、第 1 実施例と同じ
 10 (図 2 参照) である。

図 4 は、キー入力が一定期間なかった場合に、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定するための処理の手順を示している。

この処理は、1 秒毎に開始される。まず、前回の 1 秒間にキー入力があったか否かを判別する (ステップ S 2 1)。前回の 1 秒間にキー入力があった場合には
 15 、タイマ t をリセット ($t = 0$) した後 (ステップ S 2 2)、ステップ S 2 4 に移行する。

上記ステップ S 2 1 において、前回の 1 秒間にキー入力がなかったと判別した場合には、タイマ t を 1 だけインクリメント ($t = t + 1$) した後 (ステップ S 2 3)、ステップ S 2 4 に移行する。

20 ステップ S 2 4 では、タイマ値 t が既定時間 T 未満であるか否かを判別する。タイマ値 t が既定時間 T 未満である場合には、今回の処理を終了する。タイマ値 t が既定時間 T 以上である場合には、現在時刻が第 1 のデフォルトユーザ情報 (ユーザ名が“HONTAI1”のユーザ情報) に対して設定されている有効時間帯 (この例では、10:00 ~17:00) に属するか否かを判別する (ステップ S 2 5)。

現在時刻が第1のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI1”のユーザ情報）に対して設定されている有効時間帯に属する場合には、現行ユーザ情報を第1のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI1”のユーザ情報）に設定した後（ステップS 2 6）、今回の処理を終了する。現在時刻が第1のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI1”のユーザ情報）に対して設定されている有効時間帯に属しない場合には、現行ユーザ情報を第2のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI2”のユーザ情報）に設定した後（ステップS 2 7）、今回の処理を終了する。

なお、キー入力が一定期間なかった場合に現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定することに代えて、またはキー入力が一定期間なかった場合に現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定することに加えて、現行ユーザ情報としてデフォルトユーザ情報を設定させるための特定キーを本体操作部1 2に設けておき、特定キー操作によるキー入力があったときに、現在時刻に応じて、現行ユーザ情報を第1のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI1”のユーザ情報）または第2のデフォルトユーザ情報（ユーザ名が” HONTAI2”のユーザ情報）に設定するようにしてもよい。

請 求 の 範 囲

1. ネットワークを介しての遠隔操作と、本体操作部による操作とが可能な電気機器において、

- 5 遠隔操作を行いうるユーザ、本体操作部の操作を行いうるユーザならびに遠隔操作および本体操作部の操作の両方を行いうるユーザを含む各ユーザについてユーザ名、パスワードおよび権限レベルからなるユーザ情報が予め設定されており、その設定内容を保持している記憶手段、

- 10 各ユーザが電気機器に対してネットワークを介して遠隔操作を行う際には、そのユーザ名およびパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、入力されたユーザ名に対応するユーザ情報に含まれている権限レベル内での遠隔操作を可能とさせる手段、

- 15 現行ユーザ情報を本体操作部を用いて現在操作を行なっていると想定されるユーザのユーザ情報と定義し、各ユーザが電気機器に対して本体操作部を用いて操作を行う際には、そのユーザ名およびパスワードを入力させて、入力されたパスワードが正しいか否かを判別し、入力されたパスワードが正しい場合にのみ、現行ユーザ情報を入力されたユーザ名に対応するユーザ情報に設定するといった現行ユーザ情報設定処理を行う手段、ならびに

- 20 現行ユーザ情報として設定されたユーザ情報に含まれている権限レベル内での本体操作部の操作を可能にさせる手段、

を備えていることを特徴とする電気機器。

2. 記憶手段には、権限レベルが所定のレベルに設定されたデフォルトユーザ情報が登録されており、

- 25 電気機器の本体操作部からのキー入力が無い状態が所定時間以上継続しているときには、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段、

電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含ま

れている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、

判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに

- 5 判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力ではないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段、
を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気機器。

3. 現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、および

- 10 特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段、

を備えていることを特徴とする請求項 2 に記載の電気機器。

4. 記憶手段には、権限レベルが所定のレベルに設定されたデフォルトユーザ情報が登録されており、

- 15 現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、
特定キー操作によるキー入力があったときに、現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定する手段、

電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、

- 20 判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに

判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力ではないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段、

- 25 を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気機器。

5. 1 日の時間帯が複数の時間帯に分けられており、記憶手段には、各分割時間帯毎に、その分割時間帯に応じて決定された権限レベルが設定されているデフ

オルトユーザ情報が登録されており、

電気機器の本体操作部からのキー入力が無い状態が所定時間以上継続しているときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ

5 情報を設定する手段、

電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、

判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、なら

10 びに

判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力ではないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段、

を備えていることを特徴とする請求項1に記載の電気機器。

15 6. 現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、および

特定キー操作によるキー入力があったときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ情報を設定する手段、

を備えていることを特徴とする請求項5に記載の電気機器。

20 7. 1日の時間帯が複数の時間帯に分けられており、記憶手段には、各分割時間帯毎に、その分割時間帯に応じて決定された権限レベルが設定されているデフォルトユーザ情報が登録されており、

現行ユーザ情報をデフォルトユーザ情報に設定させるための特定キー、

25 特定キー操作によるキー入力があったときには、現在の時刻が上記各分割時間帯のうちのいずれの分割時間帯に属するかを判別し、判別した分割時間帯に対応したデフォルトユーザ情報に現行ユーザ情報を設定する手段、

電気機器の本体操作部からキー入力があったときには、現行ユーザ情報に含ま

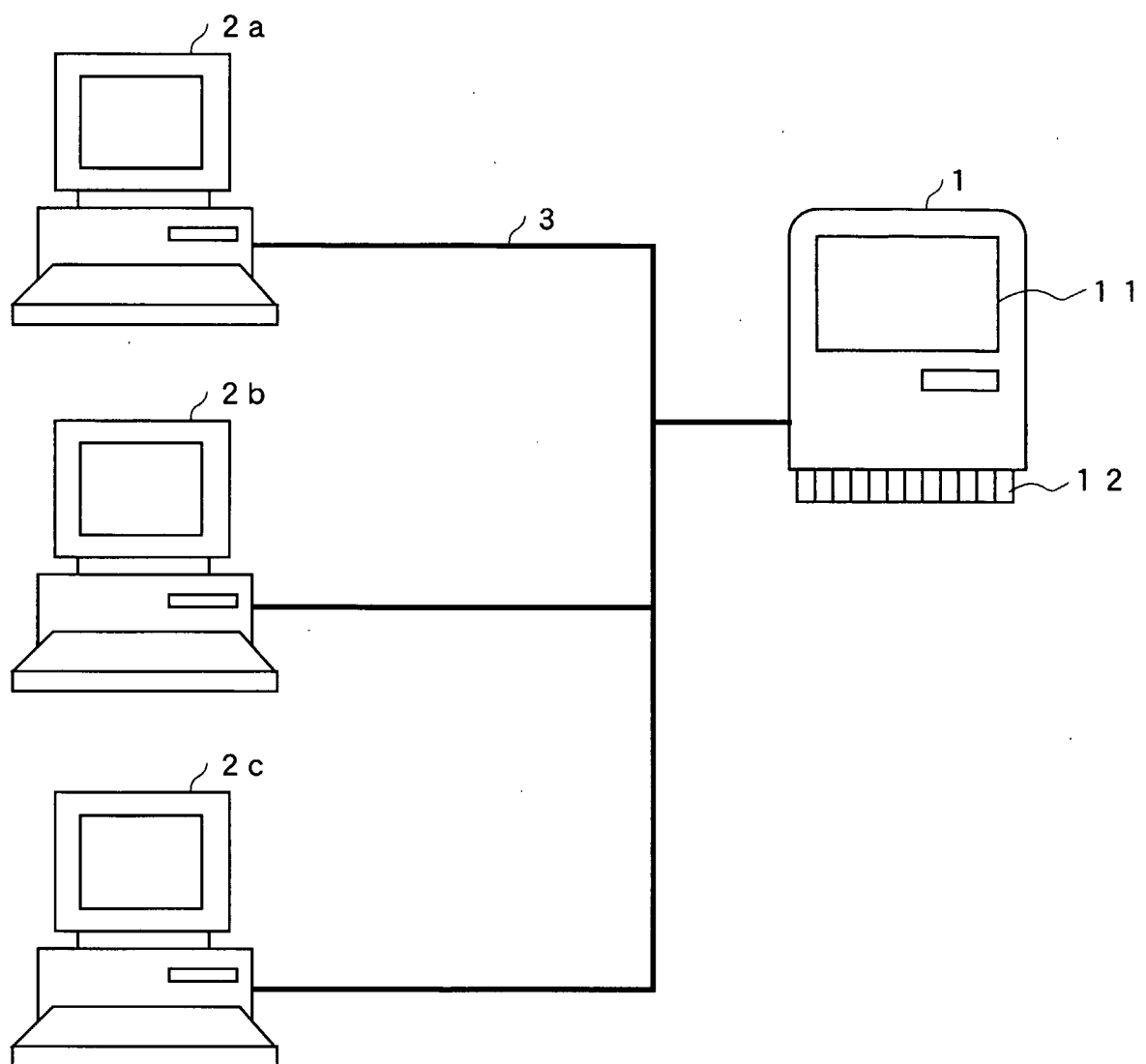
れている権限レベル内のキー入力であるか否かを判別する判別手段、

判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力であると判別されたときには、当該キー入力に応じた処理を実行させる手段、ならびに

- 5 判別手段によって、現行ユーザ情報に含まれている権限レベル内のキー入力ではないと判別されたときには、現行ユーザ情報設定処理に移行させる手段、
を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気機器。

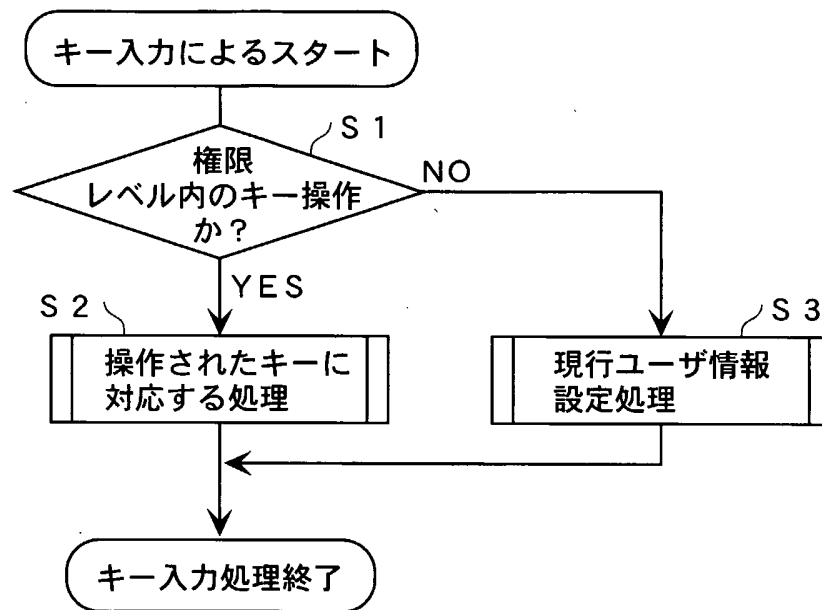
1/4

第 1 図



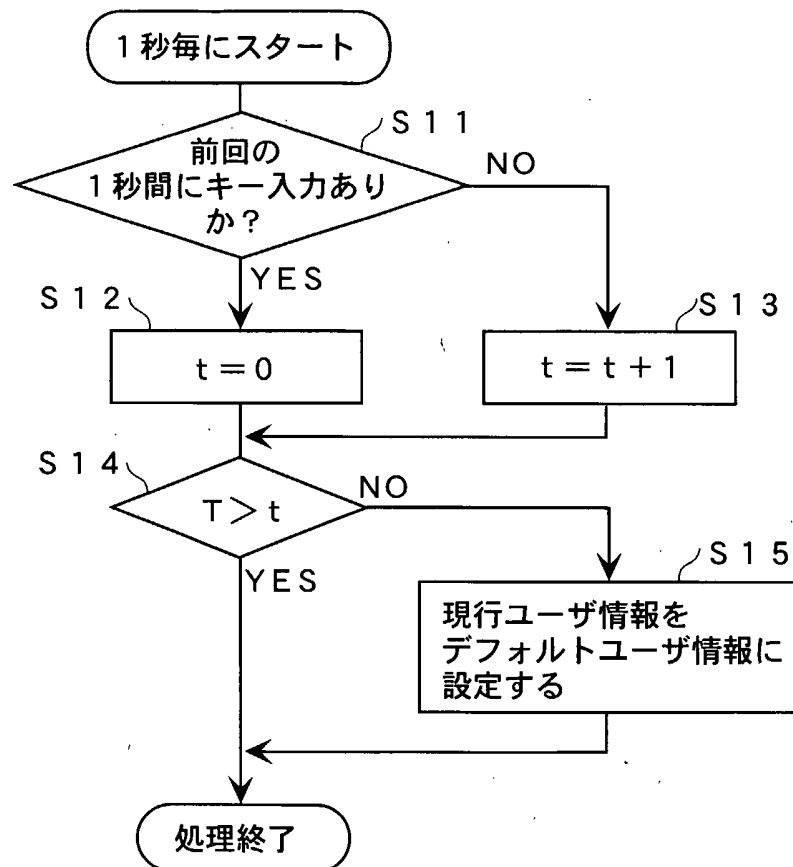
2/4

第 2 図



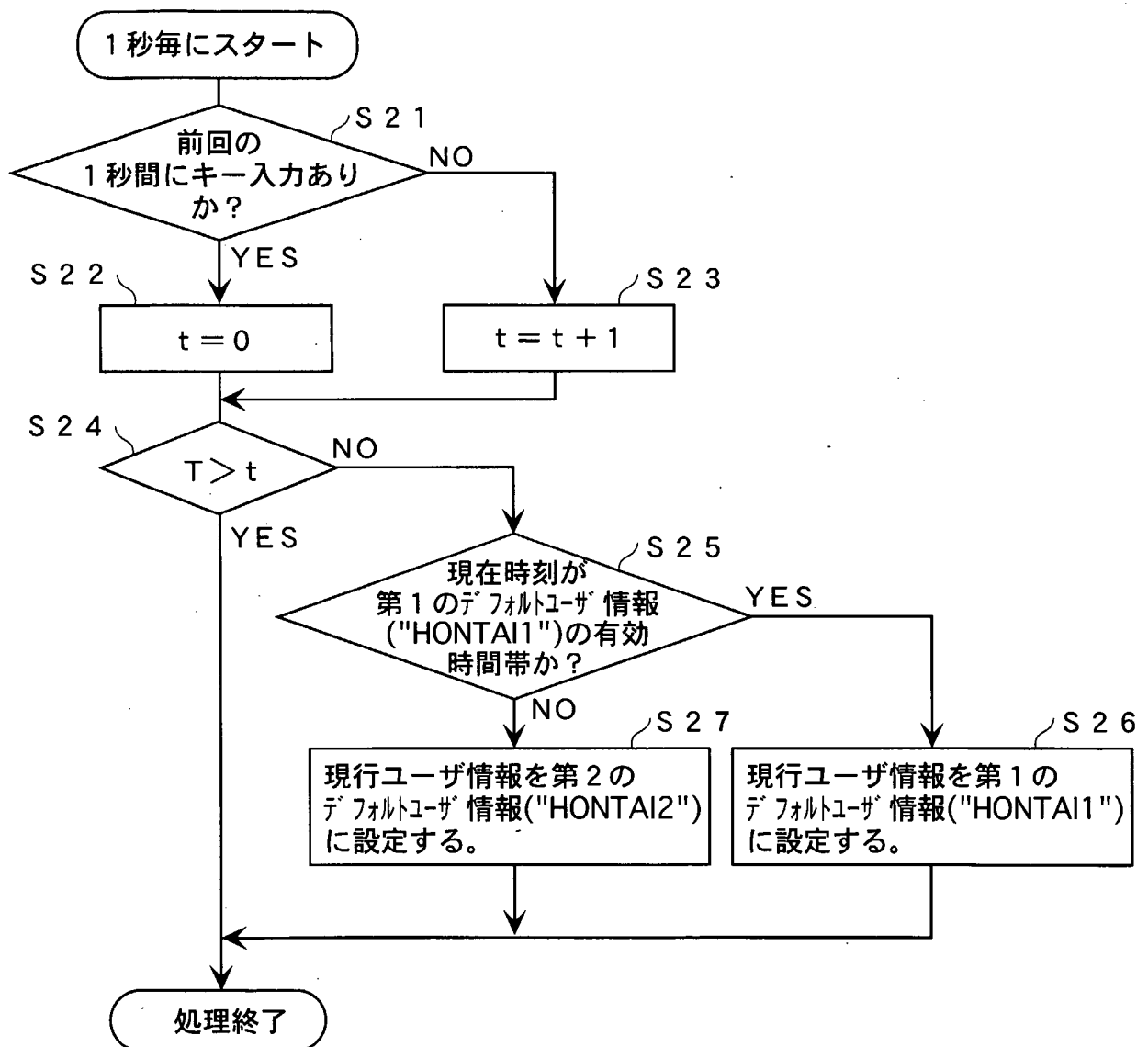
3/4

第3図



4/4

第4図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/010306

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl.⁷ G06F15/00, H04N5/765, H04Q9/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.⁷ G06F15/00, H04N5/765, H04Q9/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2005
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2005	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2005

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2003-273577 A (Fuji Machine Mfg. Co., Ltd.), 26 September, 2003 (26.09.03), Full text; all drawings & US 2003/0225472 A1	1-7
Y	JP 2003-263416 A (Canon Inc.), 19 September, 2003 (19.09.03), Claims & JP 2004-185629 A & US 2003/0105849 A1 & US 2003/0167336 A1 & EP 1320008 A2 & EP 1427166 A2 & CN 1423209 A	1-7
Y	JP 2-285439 A (NEC Corp.), 22 November, 1990 (22.11.90), Full text; all drawings (Family: none)	5-7

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
29 August, 2005 (29.08.05)Date of mailing of the international search report
13 September, 2005 (13.09.05)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/010306

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 10-289134 A (Casio Computer Co., Ltd.), 27 October, 1998 (27.10.98), Full text; all drawings (Family: none)	1-7

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ G06F15/00, H04N5/765, H04Q9/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl.⁷ G06F15/00, H04N5/765, H04Q9/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2005年
日本国実用新案登録公報	1996-2005年
日本国登録実用新案公報	1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2003-273577 A(富士機械製造株式会社) 2003.09.26, 全文, 全図 & US 2003/0225472 A1	1-7
Y	JP 2003-263416 A(キヤノン株式会社) 2003.09.19, 特許請求の範囲 & JP 2004-185629 A & US 2003/0105849 A1 & US 2003/0167336 A1 & EP 1320008 A2 & EP 1427166 A2 & CN 1423209 A	1-7
Y	JP 2-285439 A(日本電気株式会社) 1990.11.22, 全文, 全図 (ファミリーなし)	5-7

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

29.08.2005

国際調査報告の発送日

13.9.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

宮司 卓佳

電話番号 03-3581-1101 内線 3546

5S

9555

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 10-289134 A(カシオ計算機株式会社) 1998. 10. 27, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-7